

地域経済

学校向けのノウハウ生かします

「中高齢者」靴に参入

ラッキーベル「柱の1つに」

上履きや運動靴など学
校用シューズの草分け、
ラッキーベルシューズ
(神戸市)は、中高齢者
や要介護者向けの靴の販
売を始める。これまで青
少年向けに追究した履き
やすさのノウハウを生か
す考えで、少子化と高齢
化をにらみ「事業の柱の
一つに育てる」(有吉英
二社長)考え。

数年前から開発に取り組
んでいた。

商品名は「Lapor
ter(ラポーター)」。

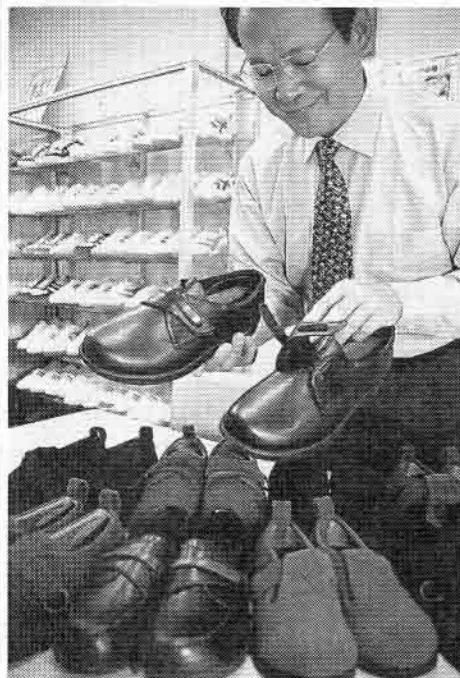
特許を出願したベルトで
足の甲のサイズに合わせ
やすくしたほか、女性用
で片足百八十号、男性用
も同二百三十号ほどに軽
量化。半面、靴底には二
十五、程度の厚みを持た
せ、安定感を確保した。

中敷にも、足つばを刺激
する微妙な凹凸を施して
いる。

外履きは五千九百円、
七千八百円の二タイプ。
女性には三千九百円の内
履きも。「足が悪くて外

約四十年前に、当時と
しては珍しい学校用シュ
ーズの専門メーカーとし
て創業。現在、生産は中
国の工場にほぼ委託し、
年に約十二億円を売り上
げている。新市場向けは

出しにくかった人たちに
も、歩く楽しさを伝えた
い。新製品の開発も続け
るつもり」と有吉社長。
介護用品店などで扱う。
同社☎078・621・
5331



ラッキーベルシューズが開発した中高齢者向け靴「ラポーター」＝神戸市長田区長田町

ラッキーベル社長 有吉英二さん

「街では見かけないけれど、実はみんなの足元を育ててきたんです」と話すのは、運動靴メーカー「ラッキーベル」(神戸市)社長の有吉英二さん(五七)。一九六一年の創業以来、運動靴や上履きなど、学校用シューズ専一筋に作ってきた。専門では最大手だ。

高齢・要介護者に優しい靴づくりを

昨年十一月に高齢者や要介護者向けの健康靴「ラポーター」を発売した。履きやすさだけでなく、デザインも重視。「外を歩きたくなるような靴」を目指した。今年四月に本社を現在地に移転、社名も「ラッキーベルシューズ」から「ラッキーベル」へ。「新たなスタート。シューズの枠にとられず、いろいろな分野に挑戦したい」。

